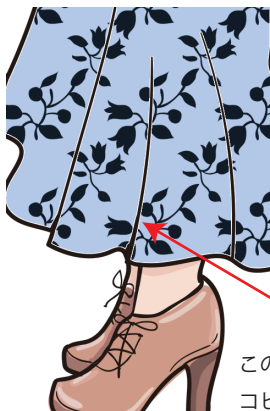


photoshop でスタイル画を描く。

コピー・ペーストの際に出来る隙間の対処方法。

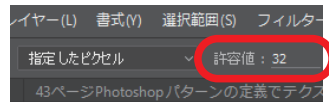


Photoshop の画像には
アンチエイリアスと言って
線の縁をぼかして滑らかにさせる
機能が備わっている
アンチエイリアスのメリットが逆に働き
コピーペーストした際にどうしても
隙間ができてしまう場合がある。

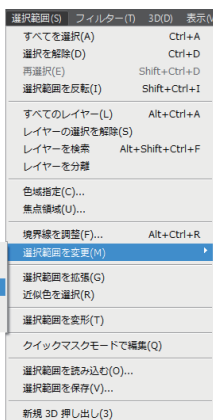
この様な隙間を無くして
コピーペーストするには幾つかの方法がある。



一色に見える線でも拡大すれば
その縁は黒から白の
グラデーションとなっており
この縁のグレーをどれだけ
選択できるかによって
隙間の見え方は異なってくる。



一つの方法として自動選択ツールを
選び許容値を設定する。
一般に数値が大きい程
選択できる色の領域が広がる
例えば数値 1 であれば白以外
選択しないが数値を 32 にすれば
ある程度グレーまで選択してくれる。
因みに default では 32 となっている。

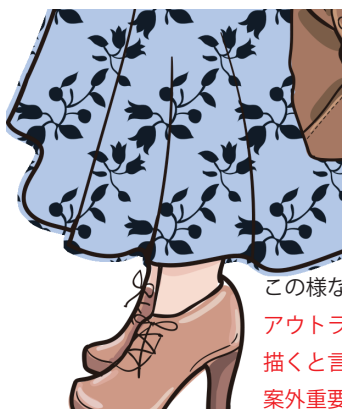


また他の方法として一旦自動選択ツールで
選択した後選択範囲メニューから選択範囲を
変更を選び更に、拡張を選ぶ。

1 Pixel 拡張すれば 1Pixel 分選択範囲が
外側に広がる
2 ~ 3Pixel 程度拡張しても良いが
あまり拡張するとアウトラインの
外側に選択範囲がはみ出してしまう。



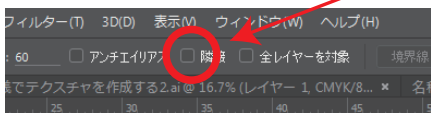
拡張し過ぎると
隙間は無くなったが
アウトラインの外側に
テクスチャがはみ出してしまう。



この様な事にならない為に
アウトラインを一番太い線で
描くと言う事は
案外重要なのである。

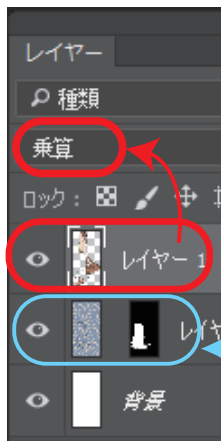


自動選択ツールには **隣接** という
機能があり隣接のチェックマークを外すと
同色を同時に選択出来る。



色調補正から色相彩度を実行すれば
一気に同色のモチーフの部分の色変更が
可能である。

この時 **色彩の統一** に
チェックを入れておいた方が
やりやすい。



選択範囲が増えると
線描きの部分が消えて
しまうので
ペーストしたレイヤーの
位置を下に
線描きのレイヤーの
描画モードを乗算にすると
線画が見えるようになる。

ペーストした
テクスチャレイヤーは
線画の下に位置に変更する

